

# 市民 レポート

市民編集委員

山本美香 さん

## ～人と人との想いをのせる 「つながりカフェ」～

清瀬駅北口を出てすぐ右手に見える「アミュビル」。こちらの4階「アイレック(男女共同参画センター)」で2か月に1度(原則、偶数月の第1木曜日)のペースで、誰もがくつろげる「つながりカフェ」が開催されています。家でも職場でもない第3の場所として交流の場となっています。今回は「つながりカフェ」の取り組みをご紹介します。



大正時代のお雛様

### ～柔らかにつながる人の輪～

2月1日の午後1時。「つながりカフェ」に人が集まってきました。カフェスタッフの方のご好意で設置されたという大正時代の雛人形も、カフェでお出迎えです。

カフェは、平成24年7月から準備を始め、25年12月にスタート。アイレックのサポーター「チームつながりカフェ」が運営していて、参加費100円で飲み物とお菓子が付きます。

「年齢・性別・国籍を問わず、どなたでも自由に参加できますよ」と、にこやかに話される世話人の木下さん。特に決まったルールはなく、その日集まったメンバーでお茶を飲みながらおしゃべりをしたり、イベントを楽しんだり、と過ごし方は自由だそうです。



(上) 会場内の様子  
(右) 世話人の木下氏



### ～時間の共有が気持ちをつなぐ～

参加者の方にお話を伺うと「みんなで懐かしい歌を歌うのが楽しみ」、「訳あって家に一人でいるようになった時に、お友達に誘われてきたら、思いがけず楽しい時間を過ごせた」、「気兼ねなく好きな時に参加できるのがいい」と、それぞれの意見を語られました。

「第26回目」のこの日のイベントは、清瀬紙芝居サークル「ひだまり」による紙芝居とアイレックのスタッフによる折り紙でのお雛様作りです。

紙芝居の演目は「ないたあかおに」と「いのちをいたかく」。部屋の明かりを落としながら演じられる紙芝居に、皆さん聞き入っていました。

お雛様を作る時間は学校の放課後のワンシーンを思い出します。「アハハ、折り間違えた」、「ここはどうするの」、「違ってもなかなか素敵よ」と、どんどん人との距離が近くなります。最後は思い思いの作品が出来上がりました。

### ～気軽に立ち寄れる場所を～

「震災の余波で清瀬に暮らすことになったが、顔見知りの人がいなくて心細い」、「お茶を飲みに行きたいけれど小さな子どもがいると迷惑かなと思ってしまう」、「色々な人が集まる場所に参加して知り合いを作りたい」。このような想いをすくい上げ、有志の方たちと形にしたのが「つながりカフェ」だと木下さんは言います。

「ここに来れば安心できて、ちょっとし



(上・左) 折り雛作りの様子

た気分転換もできる。そんな場所になるよう、これからもお手伝いしていきたいですね。私たちボランティアも、その日に活動できる人が、できることをするという無理のないスタイルで運営していますので、皆さんも気軽にお越し下さい」とニコリと笑顔で話されました。

### ～取材を終えて～

今回のテーマについて、色々と意気込んだ質問を用意していたのですが、木下さんからの答えは意外にもシンプルでした。それは全てにおいて「肩に力を入れ過ぎないこと」、「あれこれと気合を入れ過ぎると長続きしないので、それよりも皆さんが自然体でリラックスできることに重きを置きたい」と話されます。そのうえで「緩やかに地域のネットワークが動き出すのが理想」だとおっしゃっていました。

もうすぐ春です。お散歩がてら「つながりカフェ」へ立ち寄ってみませんか。

## 3月11日(日)に市内の防災行政無線から東日本大震災の追悼放送を流します

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から今年で7年が経ちます。

それに伴い、3月11日(日)午後2時45分に市内全ての防災行政無線から黙とうの呼びかけを行います。発災時間の午後2時46分になりましたら、1分間の黙とうにご協力をよろしくお願い致します。

日時 3月11日(日)午後2時45分  
問合せ 防災防犯課防災係 ☎042・497・1847

## Jアラートの全国一斉情報伝達訓練が実施されます

地震や武力攻撃などの発生時に備えて、国から全国瞬時警報システム(Jアラート)で全国一斉に送られてくる情報を防災行政無線で放送する訓練を行います。

この訓練では市内全域の防災行政無線を起動し、下記の内容で試験放送を行いますので、ご了承ください。

日時 3月14日(水)午前11時  
問合せ 防災防犯課防災係 ☎042・497・1847

### 【試験放送の内容】

(上りチャイム音)  
「これはJアラートのテストです(3回繰り返し)。こちらは防災清瀬市です。」  
(下りチャイム音)

## 募集 臨時職員

### スクール・サポート・スタッフ

業務内容 学習プリントの印刷・配付準備、授業準備の補助、採点業務の補助など、教員の業務支援

対象 心身ともに健康な18歳以上の方(高校生不可)。若干名

勤務場所 市内各公立小中学校

申込み・問合せ 3月9日(必着)までに臨時職員登録申込書(市ホームページからダウンロード可)または市販の履歴書に必要事項を記入し、写真を貼付のうえ直接窓口または郵送で指導課教職員係 ☎042・497・2553へ

## 募集 平成30年度嘱託員

職種・人数 ①主任介護支援専門員②学童クラブ指導員③保健師④社会福祉士。いずれも若干名

資格 ①主任介護支援専門員の資格を有する方②保育士証または教員免許を有する方③もしくは2年以上児童福祉事業に従事(常勤に準じた勤務)した経験のある方③保健師免許証を有する方④社会福祉士の資格を有する方

応募要項 3月1日(木)から12日(月)までの平日午前8時30分～午後5時に職員課で配布(市ホームページからもダウンロード可)

申込み・問合せ 3月12日までの平日午前8時30分～午後5時に、所定の用紙に必要事項を記入し、資格証明などの写しを添えて、直接窓口または郵送で職員課教職員係 ☎042・497・1843へ

## がんばりすど

各種大会で優秀な成績を収めた方・団体を紹介します。

### 市内農家が花き品評会で特別賞

第67回関東東海花の展覧会が2月2日から4日まで池袋のサンシャインシティ文化会館(豊島区東池袋三丁目)で開催されました。

展覧会なかで花きの品評会が行われ、清瀬市からは下宿在住の坂間恵さんがメリアンサス(部門:観葉植物)を出品し、特別賞の日本花き卸売市場協会首都圏支所長賞を受賞しました。

おめでとうございます。



受賞したメリアンサス

## まちかどニュース

身近なイベントや、まちかどの話題を皆さんから募集しています。

### ドイツ人留学生が清瀬の農業を学んでいます

昨年4月から今月末まで、ドイツ出身の大学生ヨナタン・フィリップ・ヘクスゲスさんが海外農業研修制度を利用して、農業研修生として、中清戸の岩田農園で農業を学んでいます。研修先を日本に決めた理由を伺うと「日本の高品質な野菜の栽培技術などを知らなかったからです」と答えてくれました。

卒業後はこの経験を生かし「ドイツ内外の土の質が悪い地域の農家に対して、それぞれの地域に合った土づくりをアドバイスしたい」と語っています。



農業研修生のヘクスゲスさん(右)と岩田農園の岩田さん(左)

## 清瀬市民活動センターが 変わります!

4月1日より清瀬市民活動センターは市民活動の拠点に加え、ボランティア活動を支援する、きよせボランティアセンター(清瀬市社会福祉協議会)の機能を含んだ「きよせボランティア・市民活動センター」となります。今後は従来の市民活動の支援に加え、ボランティアに関する情報発信など、ボランティアを求める側と提供したい側を結ぶ機能を担います。

施設の運営は清瀬市社会福祉協議会になりますが、会議室や備品は従来どおりご利用いただけます。

ただし、開館日などが変更になりますので、ご注意ください。

開館日 月～土曜日(日曜日、祝日、年末年始は休館)

開館時間 午前9時～午後5時

問合せ 企画課市民協働係 ☎042・497・1803